

活動報告書

自民党 衆議院議員  
外務大臣政務官

# 木原誠二

せいじ便り 65号

一歩一歩ともに

## 財政運営に新たな視点を

1月24日に開幕する国会では、先ず冒頭、来年度予算が本年度補正予算とともに審議されます。予算というと、歳入がどれだけ伸び、歳出をどれだけ削るか、ということが議論されます。これはこれで大切なことですが、日本の予算制度には、より根本的に改善すべき点があるように思われます。今回は3点ほど指摘したいと思います。

### 第一に、第三者の目線の導入です

現在の予算編成作業は、お金を要求する各省庁、それを査定する財務省との間で行われています。予算を要求する際の根拠となる見積もり、その見積もりの様々な前提条件、効果の測定方法などについては、説明する側の各省庁と判断する側の財務省のみが関与しているわけです。

ここに、客観的で厳しい第三者の目を加えることが大切です。本来は国会がその機能を果たすべきなのでしょうが、何万人もの官僚が半年近くかけて作り上げてきた予算を、数週間の審議日程で数百人の国会議員がチェックするのは、現実問題、無理があります。そこで、政府の中に、予算の見積もりや前提条件や効果予測について助言・監視する第三者機関を作るべきです。

### 第二に、借金の繰上げ返済という視点です

一般の会社や個人の場合、利益や収入が増えると、先ず借金の返済を優先させることがよくあります。前倒し返済、繰上げ返済です。国でも、想定

予定よりも歳入が増えた、あるいは増えそうだという場合、同様の借金減らしが行われてしかるべきですが、行われることはほとんどありません。できないというわけではありませんが、我が国では、制度として60年償還ルールというものを設けており、毎年の返済額は機械的計算で自動的に決まることになっており、その額以上に追加返済をするという仕組みがないのが現実です。

その結果何が起るかという点、バブル期がまさにそうであったように、歳入はドンドン上がるのだけれど、それと同額歳出も増えてしまうという状況になってしまいます。歳入の上振れの一部は必ず借金返済の増加に充てるルールを作るべきです。

### 第三に、複数年度予算の視点です

これは言い古されてきた視点ですが、依然として我が国予算には、単年度予算の弊害が色濃く残っています。少なくとも、複数年度の見込みや計画を併せて各省庁から提出させるなどの工夫が不可欠です。

### カギワード...

現在、政府の一員となっており、国会で質問に立つて正していくことは難しいですが、与党の一員として一歩一歩改善できるよう、取り組んでいきます。



モンゴル国営放送のインタビューを受ける

# 日モンゴルEPA交渉の首席交渉官に就任



日本人抑留中死亡者慰霊碑に献花

現在、我が国は、モンゴルとの間の経済連携協定締結に向けて交渉を進めています。モンゴルにとっては我が国が最初のEPA相手先となります。これまで5回にわたり交渉が行われてきましたが、交渉レベルを上げ、政治的な推進力を与えるため、6回目から私が首席交渉官に指名されました。

中国とロシアという大国にサンドイッチ状に挟まれたモンゴルは、経済的にもこの両国への依存度が高く、この依存度を抑制していくことが、経済面のみならず外交・安保面でも重要な課題となっており、それが、モンゴルが日本を最初のEPA相手国として望んだ大きな要因となっています。

他方、我が国にとっても、モンゴルとの間の貿易総額、投資総額は大きくはないものの、豊富な天然資源に恵まれるモンゴルは魅力的なパートナーです。拡大する中国を牽制する意味でも大切です。

こうした観点から、我が国は、1990年代以降のモンゴルの民主化、市場経済化の最大の援助国として、ODA供与や技術援助、人材育成援助を行ってきました。その結果、相撲はもちろんのこと、日本語を学ぶ人の割合が世界中で最も高いなど、モンゴルは大変な親日国となっています。

## 次の大きなステップがEPA締結

そこで、EPAの首席交渉官としてモンゴル側の信頼関係を築くため、1月15日〜17日までモンゴル・ウランバートルを訪問しました。平均気温マイナス20度の極寒の中、交渉の相手方となるチョロ



ノンプロジェクト外無償援助調印式で署名

ンバト経済・開発副大臣

はもとより、

アルタンホヤ

グ首相、ボル

ド外務大臣、

バドバヤル経

済開発大臣、

ガントウムル

教育・科学大

臣、エルデネ

バット日モン

ゴル友好議

員連盟会

長、などと会

談をさせていただきました。また、介護機器、防災機材の供与に関する交換公文の署名式にボルド外務大臣とともに出席させていただきました。

昨年、安倍総理とアルタンホヤグ首相が相互に訪問をし、「中期行動計画」に合意した結果、日モンゴル関係は何時になく緊密になってきています。安倍総理による積極的なトップ外交の成果と言えます。

なお、EPA交渉は通訳なしの全て英語です。これから英語の磨き上げをしたいと思います。



旧友の旭鷲山さん(首相顧問)と会談

### 地元事務所

〒189-0013 東村山市栄町2-22-13 松岡ビル2F  
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

### 国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室  
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719



### 木原誠二プロフィール

年金・医療・介護、障害者福祉、行財財政改革、公務員制度改革、都市農業など幅広く活動を展開。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/kiharaseiji/>

twitter ID [http://twitter.com/kihara\\_seiji](http://twitter.com/kihara_seiji)

ホームページ <http://www.kiharaseiji.com>



### 木原誠二公式モバイルサイト

<http://kiharaseiji.com/k/>

携帯電話から木原誠二モバイルにつながります。